

○今週のねらい ◇経験内容 ・環境の構成と指導のポイント

遊び

○友達と思いや考えを出し合って遊び、イメージが重なり合う楽しさやつながる喜びを味わう。

◇一緒に遊びたくなる友達と自分たちだけの場を作って遊び出す楽しさを味わう。

- ・幼児の興味を取りながら、遊び出すきっかけ作りをしていく。絵本やお話からイメージを引き出したり、イメージを表現したくなる用具や材料を提示したりしていく。
- ・遊びの拠点となる場所や、用具を吟味し、必要な量を見定めていく。繰り返し自分たちでイメージを伝え合いながら遊びを進めていけるようにしていく。

◇自分たちで考え合って遊びを進めていこうとする。

- ・継続的に一人一人を見守り、相手に自分の思いや考えを話したり相手の話を聞いたりする姿を必要に応じて支え、イメージが重なっていく楽しさを味わえるようにしていく。
- ・遊びの中でより本物らしさを求めたくなる事が予想される。必要な物をタイミングを捉えて提案していけるようにする。時には教師がやってみせたり、幼児と一緒に作ったりしながらイメージを引き出していく。

◇飼育物、栽培物や園内外の自然に関わり、梅雨や初夏の自然に触れる。

- ・飼育物や捕まえた虫にも命があり、住みやすい環境をどう作っていけばいいか飼育方等図鑑を開きながら共に考え合っていく。オオスカシバのサナギの羽化やザリガニの脱皮、オタマジャクシの成長等、機会を逃さず伝え気づきや感動をみんなで共感し合えるようにする。
- ・夏野菜の生長や変化に気づいて伝えようとする姿を逃さず受け止め、全体で話題にしたり、共感し合ったりしていく。二十日大根を収穫し、その物の味を味わったりスケッチをしたりし、諸感覚で感じ、表現したくなるようにしていく。

◇友達と刺激し合いながら、自分なりの目標を持ち繰り返し挑戦してみようとする。

- ・引き続き、その日の気温や日差しにも考慮しながら冒険隊への挑戦を楽しめるようにしていく。個に応じて挑戦したい目標や進度が異なることを十分考慮し、教師間で連携しながらその子なりのタイミングで取り組もうとする姿にも対応出来るようにすることでより達成感や次への意欲につながるようしていきたい。
- ・雲梯は数字を表示、登り棒は到達点の色を変えることでより具体的に個々の目標に向かって自ら取り組みたくなる状況作りをしていく。

学級での活動

<七夕が近づいていることを知り、歌ったり踊ったり、製作したりして想像を膨らませる>

- ・七夕への想像を膨らませたり、星空や宇宙などへの興味が湧いたりするように引き続き、お話、歌などで雰囲気作りをしていく。
- ・七夕に関しての伝承折りでは一つひとつにどんな意味があるのかを伝え、丁寧に取り組んでいけるよう個々の取り組みの様子を逃さず認めていくようにする。

<友達との集団遊びを通して様々な友達とのかかわりを十分に楽しみ、つながる喜びを味わう>

- ・トラブル時には教師を最初から頼りにせず、自分達で思いを言い合ったり、折り合いをつけようとしたりする姿がある。様子をさりげなく見守りながら、自分の気持ちを伝えたいが相手に伝わらずにいる子には必要に応じて言葉を補足したりしながら支え、相手に伝えていく経験を積んでいく。また相手の思いに気が付かずにいる場面では、相手の気持ちを表情、言葉から感じ取れるように促しながら、自らの表しを振りかえられるようにしていく。また自らが感じ、意識し行動している時には機会を逃さず認め、受け止めていく。(なるべくプラスの場面を捉え認めていくようにする)

生活

<遊びや生活の流れに見通しをもち、自分達で考えや気づいたことを出し合い進めていこうとする>

- ・帰りの会の中で、一日を振り返ったり、明日への期待や予定を全体で話し合ったりすることで園生活の大まかな流れに具体的な見通しがもてるようにする。
- ・今までの経験から自分たちで考えや気づいたことを出し合って生活を進めようとする姿を共感的に受け止め、友達とのつながりを意識できるよう言葉を添えていく。

6月18日	19日	20日	21日	22日
お話し会(七夕の導入)	幼小交流 (合同指導案参照)	伝承折り(やっこさん)	集団遊び (じゃんけんを取り入れて)	ラデッシュの収穫